

- 02. -- ドナー登録者実質7万人突破
- 01. 28 ラジオ「微笑がえし・白血病と闘う家族たちの絆」放送
- 02. 24 平成7年度厚生省骨髄移植調査研究事業公開シンポジウム参加
- 02. 25 全協主催公開シンポジウム「骨髄移植医療体制の理想を求めて」参加
- 03. -- 非血縁者間骨髄移植700例突破
- 03. -- 福島県、ドナー登録1000人突破
- 04. -- 日赤がドナー登録2次検査で、血清学的検査からDNAタイピングへ移行
- 05. 26 県協議会第4回定時総会開催（郡山市勤労者総合福祉センター）
- 06. 01 ボランティアのつどい in 苫小牧に参加（苫小牧市）
- 06. 02 全協第7回通常総会出席（苫小牧市）
- 06. -- 非血縁者間骨髄移植800例突破
- 08. -- ドナー登録3次検査でクラス? (A・B座) の一部にDNAタイピングを導入
- 08. 04 骨髄バンクチャリティN T T杯全会津ダブルステニス大会参加（会津若松市）
- 08. 18 福島市ジュニアオーケストラOB. 06骨髄バンク支援コンサート参加（福島市）
- 08. 30 財団主催、北海道、東北地区骨髄バンク推進連絡会議参加（仙台市）
- 08. 31 さとう宗幸まごころコンサート開催（矢吹町）
- 09. 14 会津ガスふれあい感謝フェア参加（会津若松市）（16日まで）
- 10. -- 非血縁者間骨髄移植900例突破
- 10. 05 ハートフルサタデー105献血運動に参加（郡山市）
- 10. 24 福島県共催で県内キャラバン実施（県内巡回）（27日まで）
- 10. 25 あやちゃんの贈り物展開催（郡山市）（27日まで）
- 11. 15 サンクトフローリアンピアノ三重奏団チャリティーコンサート開催（会津若松市）
- 11. 16 福島県との共催「骨髄バンクを楽しく知る集い」開催（石川町）
- 11. 17 福島県との共催「骨髄バンクを楽しく知る集い」開催（福島市）
- 12. 14 骨髄バンク推進全国大会「5周年記念大会」参加（東京）
- 12. 21 骨髄バンク推進キャンペーン参加（東京）

#### ■微笑がえしのラジオ&テレビ放送

ラジオ福島の大和田新アナウンサーの企画により、1996年1月28日に、「微笑がえし・白血病と闘う家族たちの絆」が放送されました。大和田アナウンサーは、日頃から骨髄バンクの重要性をラジオの電波を通しリスナーに訴えかけてくれており、大変ありがたい存在です。またこの放送後の2月23日には、テレビユー福島の地元ローカル番組「マル得ふくしま」に出演し、微笑がえしの紹介と骨髄バンクのPRをしました。

#### ■骨髄バンクPR県内キャラバン

福島県との共催で、1996年10月24日から27日までの4日間、福島県庁前をスタートし最終日の白河市までの23地区25ヵ所、のべ700キロの行程を街頭キャンペーンを行いながら走り切りました。

県庁前での出発式を行い、福島ハーレー会の協力で県内各地から集結したハーレーダビットソン9台に先導され、午前9時30分にキャラバンはスタートしました。

#### ■あぁ高校生 おお仲間

いわき支部 橋本有広

「おはようございます。骨髄バンクです。よろしくお願ひします。」

初日、福島駅前前で元気よく張り切ったのピラ配りだ。宣伝カーが雰囲気盛り上げる。最終日までガンバルゾー!!と張り切る私。

高校生と思われる3人組に渡したピラとティッシュ。事件はそのとき起こった。高校生は配ったそれを受け取り数歩進むと、ティッシュだけ取りピラを歩道に捨てたのである。いま、渡したばかりのピラだ。

「おめえー、このやろう。」と喉まで出かかったが、そこは私、ボランティア歴〇〇年で人間ができてきた。だから、だから、あーだから大きな声で、「きみたち!!」と叫んだ。

3人組は聞こえないふりをして、そのまま駅の方に歩いて行ってしまった。

歩道に捨てられたピラを1枚1枚拾う。周りではそんな私を歩行者が見ている。何とも言えない思いだった。

その後、重い気持ちのまま一人先に県庁へ急ぐ。そこで飛び込んできたのは、県北支部の赤間さんの笑顔だった。それを見た途端に重い気持ちが吹っ飛んでしまい、赤間さんに笑顔で応える自分がいた。

この広い県内の骨髄バンクボランティアには、家が離れていたり、仕事違ったり、年齢も離れていたり、この活動をやっていなければ会うことも話すこともなかった人たちがばかりだ。

今回のキャラバンを通して、より太い仲間の輪が作られたことが、私にとっては一番の収穫だった。

#### ■骨髄バンクを支援する集い

福島県の骨髄バンク運動発祥の地いわき市で、骨髄バンク運動を影ながら応援し続けてくれている「骨髄バンクを支援する会」（齋京子代表）が、1996年11月6日に骨髄バンクを支援する集いを開催しました。豊富な品物を取り揃えたバザーに加え、大石邦子さんと大谷貴子さんの対談講演、シレーネ・カンターテの皆さんによるコーラス、有志の収集家のご協力による斎藤清版画展と、盛りだくさんの内容で来場者を楽しんでもらいながら骨髄バンクのPRを行っていただきました。また、この催しの収益金約210万円はすべて県協議会にご寄付くださいました。このとき第7回を数える催しも、その後途絶えることなく続けられており、活動の大きな力となっています。